

報道関係者各位

2024 年 8 月 23 日

丸文株式会社
ベイス株式会社

丸文、ベイス株式会社との協業によるローカル 5G 拡大に向けた 無線エリア設計伴走サービスを開始

エレクトロニクス商社の丸文株式会社（代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO）：飯野亨、本社：東京都中央区、以下、丸文）は、インフラテック事業（モバイルエンジニアリングサービスおよび IoT エンジニアリングサービス）を手掛けるベイス株式会社（代表取締役社長：吉村公孝、本社：東京都港区、以下ベイス社）との協業による無線エリア設計伴走サービスを 2024 年 7 月より開始しましたのでお知らせいたします。

当社が提供する無線エリア設計伴走サービスにおいて、NW機器ベンダー※¹およびローカル 5G※²事業者とエンドユーザーとの伴走役をベイス社が担うことで、機器設置の最適化に向けた提案や技術サポートをより一層推進させてまいります。また、当社も顧客向けの新サービスである「イリス顧客ポータル」を活用し、サポート情報などをお客様自身で把握できるようにすることで、運用管理業務の軽減を支援してまいります。

※ 1：NW（ネットワーク）機器ベンダーとは、コンピュータ同士をつなげる仕組みであるネットワークを介して、さまざまなデータを送るために必要となるネットワーク機器の製造元、販売供給元のこと。

※ 2：ローカル 5G（L5G）とは、大手キャリアが提供する通信回線を利用するのではなく、事業者が 5G（第 5 世代移動通信システム）を国から直接割当てを受けたうえで基地局を設置することで利用可能となる安定的で高セキュリティな特定範囲のみの通信方法のこと。

【Ranplan Wireless、および無線エリア設計伴走サービスの概要】

丸文が代理店を務める Ranplan Wireless（以下、Ranplan 社）は電波伝搬シミュレーションツールメーカーで、無線ネットワークの設計と最適化を支援する高度な電波伝搬シミュレーションツールを提供します。このツールを活用することで、屋内外の複雑な環境における無線信号の伝送を高精度にモデリングすることにより、ネットワークのパフォーマンスを最大化させることが可能です。また、屋内外を問わず様々なシチュエーションに対応可能で、通信インフラの設計者やエンジニアは、通信強度、干渉度、カバレッジなどを詳細に分析したうえで最適なネットワーク配置を判断できます。

一方、無線エリア設計伴走サービスでは「Ranplan Professional」の基本トレーニングの実施やエンドユーザーとの会議への参加、そして定例会における技術支援を丸文とベイス社より提供いたします。当サービスを活用することで、エンドユーザーの要求や課題を迅速に NW機器ベンダーの技術部隊へフィードバックすることや、シミュレーションツール利用に必要な技術者の確保や教育といった工数を削減することが可能となります。

さらに、

- ・屋内および屋外それぞれの実環境に合わせた NW 機器の設置
- ・NW 機器ベンダー、ローカル 5G 事業者様がエンドユーザーに製品提案する際の差別化ポイントや仕様の可視化
- ・シミュレーションの実施ならびにシミュレーション結果を踏まえた最適な提案およびレポート作成
- ・操作トレーニングの実施および Q&A 対応
- ・Ranplan 社との英語によるコミュニケーション

といった業務も対応可能ですので、NW機器導入に向けた様々な工数を最適化させることが可能となります。

【当協業による効果】

当社は 2018 年から現在に至るまで、Ranplan 社の代理店として数多くの顧客とコミュニケーションを取ってきており、ローカル 5G が制度化された当初より日本全国に普及させていくことをミッションとして掲げていました。

そのような中、当協業を通じて「労働人口減少や、それに伴う ICT インフラの構築・運用保守の担い手不足といった、日本に差し迫った社会課題の解決に貢献しつつ、ICT インフラを創り、支える」というお互いの想いもあり、今回の協業が実現しました。

今後、ローカル 5G は商用フェーズに向かっていくと言われています。当社では、日本での脱 PoC を後押しするため、ローカル 5G のシミュレーション業績において日本トップクラスであるベイス社と協業することで、ローカル 5G の全国展開の推進に繋がりたいと考えております。

長年の経験で培ってきた当社のローカル 5G に関する技術力と、ベイス社の通信インフラ構築におけるノウハウとスキルを掛け合わせ、ローカル 5G 導入に関わる事業者側の負担を軽減し、持続的な ICT インフラの実現に寄与してまいります。

【ベイス社 取締役兼執行役員 佐藤倫大氏 コメント】

NW 機器設置やローカル 5G 構築には多くの工数が必要ですが、ベイスが創業時から培ってきたモバイルエンジニアリングに関する技術力を活用しつつ、無線エリア設計伴走サービスを提供することにより、エンドユーザーの負担軽減を実現します。

今後もベイスは、「ICT で世の中をもっと便利に」をミッションに掲げ、持続的な ICT インフラの構築・運用保守を実現し、超スマート社会の普及に尽力してまいります。

【丸文 常務取締役 藤野聡 コメント】

当社は、「テクノロジーで、よりよい未来の実現に貢献する」を企業パーパスに掲げ、当社が有する高い専門技術と豊富なラインアップ、そこから創出される付加価値の提供により、お客様や社会生活の持続的な成長を支援しております。その中の 1 つとして注力している分野の 1 つがローカル 5G インフラ構築支援事業です。今回のベイス社との協業および無線エリア設計の伴走サービスの提供を通じて、無線ネットワークの事前設計と最適化を支援するサービスを提供します。今後も当社が発掘したユニークな技術と商材を活かし、新たなサービスラインアップの拡充に取り組んでまいります。

<ベイス社について>

会 社 名 : ベイス株式会社
本 社 : 東京都港区芝公園 2 丁目 4-1
設 立 : 2000 年
代 表 者 : 代表取締役社長 吉村公孝
事業内容 : 2021 年に東証マザーズ（現グロース市場、証券コード：4068）に上場、「ICT で世の中をもっと便利に」を企業理念に掲げ、テクノロジーを駆使しながらデジタル社会のインフラメンテナンスを創り、支える「インフラテック事業」を行う。通信・電力・ガス等のインフラ事業者様に対し、通信インフラの設計・施工・運用・保守サービスおよび各種プロジェクト支援等のサービスを提供。
U R L : <https://www.basis-corp.jp/>

<丸文株式会社について>

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1
設 立 : 1947 年
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO） 飯野亨
従 業 員 : 1,167 名（連結：2024 年 3 月 31 日現在）
資 本 金 : 62 億 1,450 万円
売 上 高 : 2,364 億円（2023 年度連結）
事業内容 : 半導体や電子部品、システム機器などの国内外の先端エレクトロニクス製品を販売する商社。東京証券取引所プライム市場に上場。（コード：7537）
U R L : www.marubun.co.jp

無線エリア設計伴走サービスに関するお問い合わせ先
丸文株式会社 イーリスカンパニー 担当：小川
TEL：03-3639-1336 FAX：03-5643-0354
E-mail：telecom_buz@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
丸文株式会社 経営企画部 担当：酒井・熊谷
TEL：03-3639-3010 FAX：03-5644-7693
E-mail：koho@marubun.co.jp